



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (10月23日~25日)

1. 旅行者による為替センターの利用 (24日付イラン紙)

キャリーミー為替センター広報担当は、全ての旅行者は為替センターのレートを年に1度だけ上限300ドル分使用し、外貨を入手することが出来、その手続きはメツラト銀行のみで受け付けるとした。

2. イランの流動性の上昇 (25日付アブラーレ・エグテサーディー紙)

過去7年間、イランの流動性は434%上昇しており、これは政府が過度に外貨で得られた石油収入に依存してきたことを示している。大統領府が発表した情報によれば、流動性は3,700兆リヤルと見積もられており、1ドル=17,000リヤルで計算した場合、3,350億ドルがイラン・リヤルに転換されたことになる。

3. 航空券価格の値上がりに関する運輸・都市建設大臣の発言 (25日付イラン・ニュース紙)

ニークザード運輸・都市建設大臣は、航空会社が公定レートで米ドルを入手できなければ、航空券価格がさらに値上がりする恐れがあると述べている。「我々が十分な外貨を公定レートで航空会社に供給できなければ、航空券価格を値上げすることを考慮する。フライトコストは乗客1人当たり毎時20ドルかかる」とも発言。

4. 統計センターが示した経済指標 (23日付イラン紙)

イラン統計センター長は、好況を示すものとして以下の通りの経済指標を紹介した。他方で、インフレ率は、部外秘情報と位置付けられており、政府幹部等にのみ報告されていることを明かした。

- ・ イラン暦1390年(2011年3月21日~2012年3月19日)の経済成長率は5.2%(石油収入を除く)
- ・ 都市部の世帯平均年収は1億3,000万リヤル、農村部の世帯平均年収は7,900万リヤル
- ・ 全国のジニ係数(国民所得分配係数)は0.37(注:0~1の係数範囲のうち、ゼロに近いほど格差が小さい)
- ・ 本年[イラン暦1391年(2012年3月20日~2013年3月20日)]夏の失業率は本年春(12.9%)から約1%減少

5. トウルクメニスタンからのガス輸入の減少 (23日付イラン・デイリー紙)

本年 [イラン暦 1391 年 (2012 年 3 月 20 日~2013 年 3 月 20 日)] 上半期 (2012 年 3 月 20 日~9 月 21 日) のトウルクメニスタンからのガス輸入が 52%減少していると、イラン国営ガス会社 (NIGC) 総裁が述べている。同総裁によると、イランは、約 400 万立方メートルのガスをトウルクメニスタンから輸入している一方、約 500 立方メートルのガスをトルコに輸出している。

6. 石油大臣の原油輸出停止発言 (24日付イラン・ニュース紙)

ガーセミー石油大臣は、「我々は石油収入に頼らない国家運営計画を有しており、制裁が強化される場合は、国外に向けた原油輸出を停止する。市場にイラン産原油が不足することにより、原油市場価格は劇的に上昇するだろう」と述べた。

7. 中国によるイラン産原油輸入量 (25日付イラン・ニュース紙)

9月の中国によるイラン産原油輸入量は、2011年の日量 50.4 万バレルから約 24%減少し、日量 38.2 万バレルとなった。取引筋によると、イランのタンカーによる輸送の遅れとコンデンセートの輸入減が影響している。アジア最大の精製会社 Sinopec は、設備の補修のためとして、7~9月にかけて一時的に、サウス・パールス・ガス田産コンデンセートの輸入を停止している。

8. スリランカ石油省幹部の発言 (24日付テヘラン・タイムズ紙)

イラン産原油の調達が出来なければ、スリランカ唯一の製油所である Sapugaskanda 製油所が 2 週間以上の操業停止に陥る恐れがあると、スリランカ石油省幹部が述べている。同製油所は、原油供給のほぼ全量をイラン産に頼ってきた。仮に、製油所が停止しても、政府による燃料備蓄と、燃料の直接輸入により、燃料不足は回避できる見込みである。

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799